

令和元年度学校評価結果報告書

桶川市立加納小学校

校長 田中 幸子

1 目指す学校像 「地域に誇れる加納小学校」

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校運営協議会委員評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	B	学校教育目標並びに経営方針を年度当初に教職員に周知し、生徒指導・教育相談・特別支援の観点を踏まえた教育活動を実施した。	○校長を中心に教職員同士のコミュニケーションがよく取られていて職員室の雰囲気もとてもよい。 ○教職員に接するとき、積極的に取り組んでいることが感じられる。
	2	学校は、職員の共通理解、共通行動をもとに、学級経営を進め、その後の振り返りを行い、検証・改善に取り組んでいる。	B	年間指導計画・学級経営案に沿って確実に教育活動を実践した。職員会議・学年会議等において昨年度の反省を元に課題を検証し改善を行った。	○各教室に目標が掲げられ、組織的に取り組む様子が分かる。
	3	学校は、事故やトラブルに対して組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	B	児童理解委員会を活用し、組織的に課題解決、児童理解に努めた。また、必要に応じて、管理職、保護者、担任を交えて話し合いをもち、迅速な対応に努めた。	○保護者からの相談など、よく対応してくれている。怪我や具合が悪いときなど、保護者に連絡があり、しっかりと対応している。
学習指導	4	学校は学力の向上を目指し、児童の実態に基づいて、学び合いや少人数等の学習形態を工夫するといった授業改善に努めている。	B	全国及び埼玉県学力・学習状況調査の検証結果に基づき児童の実態を明らかにし、基礎・基本の定着を重点とした。県から出されているコバトン問題集にも取り組んだ。学び合い学習や少人数指導など授業の工夫も行った。	○授業を参観すると授業の取組の改善や工夫が意欲的に実施されていると感じられる。 ○児童からのアンケートでは、「理解できるまで教えてもらえる」と回答が多いことは素晴らしい。
	5	学校は学習規範（落ち着いた態度、礼、返事、話をしっかり聞く、手悪さをしない、忘れ物をしない。…など）を定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	「加納小みんなのやくそく」をもとに学習規律等、全教職員で共通理解、共通指導をした。さらに、家庭とも連携をとり、忘れ物をしない等の規律を身につけさせるため継続して取り組んでいく。	○授業中の子供たちはとても落ち着いた態度で勉強に取り組んでいる。低学年のクラスも先生の話を中心して聞いている姿はとても素晴らしい。
	6	学校は、家庭学習の習慣を付けるよう取り組んでいる。	B	年度当初に「家庭学習の手引き」を配布したり、懇談会で保護者に説明したりして家庭学習について啓発した。学校だよりやホームページで学力調査結果等を公表し、学習の重点を示した。	○計算ドリル等、反復練習を行っていることはよい。 ○宿題も多く出されていて家庭学習にもよく取り組んでいる。

生徒指導・教育相談	7	学校は、豊かな心の育成に努めるとともに、いじめや問題行動を見逃さず、解決に向けて取り組んでいる。(生活アンケート、個別指導等)	B	学期に一回は、いじめに関する調査を行い、必要に応じて組織的に個別指導を行った。その他、道徳の授業の充実、教科指導や全校朝会・学年集会等の全教育活動で人権尊重の感覚を育成する機会を設けた。	○不登校が無いことが日頃の努力の結果だと思う。
	8	学校は、規範意識に対して、全職員の共通理解・連絡調整・確認が図られ、組織的な指導が行われている。(児童理解委員会等)	B	毎月全校共通の生活目標を提示し、各学年・各学級ともその目標達成に向け取り組んでいる。また、月ごとの振り返りも実施し、集計をとって対応策を検討、実践した。(通年：あいさつ・時間遵守・整理整頓)	○スマホやインターネットを気軽に子供たちが使うようになり、SNS等いじめの場所も変化してきている。危険性やSNS等のマナーなども教育する必要性を感じる。保護者への啓発も必要だと感じる。
健康教育	9	学校は、児童の体力向上に向け、元気タイムの計画、授業の年間指導計画を立て、実施している。	B	学校課題研究として体育科の研究に取り組んだ。その他、木曜日朝の「元気タイム」において持久走大会・縄跳び検定等に向けた目標をもたせ運動の日常化を図った。	○朝の元気タイムでは子供たちが楽しそうに走り回っている姿が多かった。 ○学校訪問するたびに、校庭で元気に遊ぶ子供たちの姿があった。 ○日常の計画的な活動と日体大や高校、外部団体等の指導を交えて積極的に取り組んでいる。
	10	学校は、学級での給食指導が適切に行われ、食に関する意識を高めようとしている。	B	養護教諭を中心として食物アレルギーへの対応をきめ細かく行った。また、食の衛生や大切さを中心とした食育指導も行い、偏食の改善を図った。	○学校ファームにて作物を育てることから、収穫をして調理をするので、よい体験授業になっている。
学習環境	11	学校は、温かさや潤いのある学ぶ環境作り(明るくあいさつを交わす、歌声が響く、清掃が行き届き、掲示物等が整えられているなど)を組織的に進めている。	B	登校時、職員、児童会、加納中学生徒があいさつ運動を行った。職員室前や中央階段踊り場付近に代表児童作品の掲示や、季節感のある掲示を行った。	○あいさつ運動、元気タイム、音楽朝会等の影響か、学校に明るさがある。また、清掃も行き届き、掲示物も工夫されている。 ○掲示物や花等、季節感のある雰囲気素晴らしい。
	12	学校は、教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。(各教科等)	B	教科等主任を中心に計画的な購入計画と廃棄を進めた。現有する教材備品の活用率を高めるため、備品の整理に努めた。	○階段の掲示、廊下等の掲示物に創意工夫が見られる。
教職員の資質向上	13	学校は、教職員一人一人の自覚を促し、教育公務員として服務規律を遵守し、保護者・地域の信頼を築くよう努めている。	A	教職員倫理確立委員会をはじめとし、校内研修会等、時機に応じた服務や教育公務員の在り方について学ぶ機会をもった。また、校務支援システム・職員室掲示を活用して情報を流すなど教職員事故防止について取り組んだ。	○PTA主催のバレーボール大会やかのうっ子まつりに参加して、保護者や地域の人と積極的に交流している。 ○教職員として日常の取組が適切に行われている。
	14	学校は、教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	教員は自己評価シートを作成して各々の目標をたて、指導力向上を図った。また、小中合同研修会や学校課題研究(体育)、救命救急法研修などの研修を通して実践的な指導力向上を図った。	○教職員同士で他の先生の授業を見学するなど、研究授業を行い、自己研鑽にさらに努めていただきたい。

家庭・地域との連携	15	学校は、学校だよりやホームページ等、また参観の機会を設けるなどして、積極的に教育活動を公開し、情報提供している。	B	授業公開のほかに定期的に学校だよりを発行したりホームページを更新したりして保護者、地域の方々に積極的に教育活動を公開した。情報メールについては、防犯だけではなく、行事等のお知らせなど、情報の有効性を配慮して配信した。	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりやホームページ（学校のできごとを頻繁に更新）等で地域へ情報発信し、地域の共感と協力を得る努力が感じられる。 ○学校だよりを回覧することによって地域の方々への公開がより広がったと思う。 ○下校時の悪天候等にも情報メールが届いてよい。
	16	学校は、保護者や関係者等と連携し、通学路の危険箇所の確認等地域の安全、児童への安全対策が適切に行われている。	B	定期的な登下校指導・通学班指導に加え、交通指導員・安全ボランティア・PTAによる見守りを行った。また、防犯推進委員、民生児童委員学校運営協議会委員との懇談会を開き、児童の安全確保について話し合いをもった。	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA、スクールガードリーダー、交通指導員などから危険箇所の報告を受け、迅速に対応している。 ○各学校関係機関、関係者、ボランティアとの連携が図られ、児童の安全対策が実施されている。 ○学校運営協議会での取組が始まったばかりなので、今後も継続的に協議を行い、来年度は加納中とも連携して更に進められるとよい。

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。